



区政へのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

区民のくらし・営業・福祉・学校を調査 改善と対策もとめ 緊急要望！

区の学校統廃合計画が「廃案」！ —今こそ、教育環境整備に力注ぐとき—

文京区教育委員会は6月3日、「学校将来ビジョン（素案）」年次計画の「廃案」を決めました。昨年9月に新入生への影響を考えて素案は「凍結」されたものの、「ビジョン策定検討協議会」でも“白紙撤回を”の声が多数を占め、ついに区民世論の

前に廃案となったわけです。小中学校の3分の1を廃校にする統廃合を強引に進めようとした区と教育委員会の責任と今後の態度が問われています。

それにもかかわらず区は、今年度中をめどに新たな方向性・ビジョンを出そうとしています。

いま文京の教育で急ぐべきことは、すべての子どもに基礎学力を保障する公教育として、諸外国や全国ですすめている「少人数学級」の実施や、学校施設の改修など子どもたちが安心して過ごせる教育環境の整備ではないでしょうか。



犬山市の少人数学級の授業を視察

保育園 待機児童 対策に着手

区は本年4月「緊急対策会議」を設置し、秋に公表する保育園待機児童解消策の具体的な検討を開始しました。

待機児童は昨年の2.6倍、124人に急増しました。

共産党区議団は、一日も早い入園を望む区民の声を力に、議会で論戦をリード。「潤沢な区財政は、保育の質の確保と、区立園の増設や正規職員を増員しての大幅な公立園児の定員増にこそ使え」と、区長に迫りました。



学校施設整備・改善

- ・4月学級増になった礒川・駕籠町小の普通教室に冷房設置
- ・本郷台中の赤水対策の改善（今回は理科室など）
- ・茗台中、金富小の体育館の剥がれ落ちそうな天井の修理

B-ぐる50万人突破

ワンコインが絶対の魅力で、区民の足として堂々の定着振ります。目白台運動公園などへの新路線の希望が強まっています。



印刷・製本業の実態調査

5月中旬、小竹ひろ子都議はじめ総勢20名で地場産業である印刷・製本の街、小石川・白山地域の事業所を訪ね、現状とともに悩みや問題をお聞きしました。



折本業者さんに話しをきく小竹都議と区議団

「仕事は3分の1に激減。その上、単価の切り下げで社員は雇えず家族でやっている」「ガソリン、紙、インク、ラップが上がったが自腹を切っている、手をうってほしい」「先が見えない。若い人は継がない」の声。

緊急7項目を区長要望

また、区立から民間に移行した4つの特養ホーム、定員を50人に増やした育成室、保育園、学校調査での実態と要望をまとめ、6月6日、区長に緊急申し入れを行いました。

保育園・育成室の待機児ゼロ対策、学校将来ビジョン素案の見直しと施設改修、特養ホームの改修と増設、妊婦健診助成の拡充、原油高に伴う業者への助成を求めました。区長は、学級増となった礒川・駕籠町小に7月までに冷房を設置する、待機児対策のため区有施設を見直し検討している、妊婦健診助成の助産所への拡充は今後詰めていくと答えました。

福祉職員の確保に支援を



区内の特養ホームでは職員の欠員が埋まらずベッドが空いたまま、民間保育園で働く職員はまさに「ワーキングプア」状態で、職員の安定性と継続性、福祉の質の確保が危ぶまれています。正職員化や労働条件改善に区の強力な支援が必要です。



高浜エコハウスを視察

第三次行革を考える

文京区は財政が90億円不足するからと、寿会館と風呂の全廃・一部売却、区民100人に職員1人をめざすとして保育園2園の民営化を打ち出す（区民の運動で未実施）など、区民犠牲の行革をすすめてきました。

図書館もまるごと民間に?!

区はその反省と総括もないまま、6月にはリサイクルプラザを廃止し、さらに図書館や八ヶ岳学園の民間委託（指定管理者制度）拡大、岩井学園の廃止などを検討し「第三次行革推進計画」を策定しようとしています。

日本共産党は、区財政が潤沢ないまこそ、区民要望の実現とサービス向上に全力をあげるべきと主張しています。



旧音羽出張所は売却を検討

区民施設のあり方

みんなの春夏秋冬



このまますすめていいのでしょうか？

文京区 ひとり当たりのごみ量 ワースト10

文京区は今年十月から、廃プラスチックごみを燃やす「サーマルリサイクル」を区内全域で実施する予定です。プラスチックを一トン燃やすと二・六四トンの二酸化炭素(CO₂)が排出され、温暖化防止にも逆を行います。加えて、文京区は、清掃工場を持たない五区のひとつ。しかし、〇七年度の区民一人当たりのごみ量は二三区中ワースト10です。清掃工場がない区として、廃プラのリサイクルをし、区民にごみ減量のアピールこそすべきではないでしょうか？

差別・負担増・年金天引きの
高齢者医療は撤回を！

医療差別と重い保険料を押しつける後期高齢者医療制度に対し、中止、廃止を求める国民の世論が沸騰しています。

四月、六月と保険料の年金天引きが始まり、怒りはおさまりません。文京区でも、五月までの三ヶ月間で約六千六百件、保険証の未着や保険料増額、年金天引き等の抗議や問い合わせが殺到しました。

十月からは、六五歳〜七四歳の国保料も年金から天引きされます。高齢者をいじめ医療の改悪は撤回させましょう。

.....